

2016年業績目録

(2016年1月～2016年12月)

大学院

硬組織疾患制御再建学講座

硬組織形態解析学

論文発表

Sahara N, Moriyama K, Iida M and Watanabe S (2016) Time and order of eruption of first functional teeth in the upper jaw of post-larval life of *Sicyopterus japonicus* (Gobiidae: Sicydiinae) during cranial metamorphosis at the time of river recruitment. Arch Oral Biol **66** : 8-14

学会発表

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月

骨髄間葉系細胞におけるCD91の機能的役割: 二宮 禎, 細矢明宏 (抄録集: p225)

歯科基礎医学会 (第58回) 2016年8月

抜歯痕修復における間葉系幹細胞のCD91の機能的役割: 二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (抄録集: p347)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

二宮 禎, 小出雅則, 平賀 徹, 中村浩彰: 細胞間ミトコンドリア輸送因子RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究C)

平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏: がん幹細胞マーカー分子EpCAMの骨転移に対する機能的役割 (基盤研究C)

小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いたRANK様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究C)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究C)

中村浩彰, 堀部寛治, 細矢明宏, 二宮 禎: M2マクロファージの修復象牙質形成への関与と新規歯髄再生療法の開発 (挑戦的萌芽研究)

雪田 聡, 茶山和敏, 中村浩彰, 二宮 禎: 母乳中ケモカインCCL25が有する新生児期の骨形成促進効果のメカニズム (挑戦的萌芽研究)

硬組織疾患制御再建学

硬組織機能解析学

著書

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第9章 骨と脳・神経・膵臓・筋肉の相互作用：新骨の科学, 第2版, p239-46, 須田立雄, 小澤英浩, 高橋榮明編, 医歯薬出版, 東京

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第1章 破骨細胞の起源と分化経路：ファーマナビゲーター抗RANKL抗体編, p28-35, 松本俊夫, 田中 栄編, メディカルレビュー社, 東京

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり (分担執筆) (2016) 第2章 5歯周病モデル動物におけるRANKL療法：ファーマナビゲーター抗RANKL抗体編, p152-9, 松本俊夫, 田中 栄編, メディカルレビュー社, 東京

論文発表

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yama-shita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. J Bone Miner Metab **34** : 395-405

Kobayashi Y, Uehara S, Udagawa N and Takahashi N (2016) Regulation of bone metabolism by Wnt signals. J Biochem **159** : 387-92

Akiyama N, Takizawa N, Miyauchi M, Yanai H, Tateishi R, Shinzawa M, Yoshinaga R, Kurihara M, Demizu Y, Yasuda H, Yagi S, Wu G, Matsu-moto M, Sakamoto R, Yoshida N, Penninger JM, Kobayashi Y, Inoue J and Akiyama T (2016) Identification of embryonic precursor cells that differentiate into thymic epithelial cells expressing autoimmune regulator. J Exp Med **213** : 1441-58

Weivoda MM, Ruan M, Hachfeld CM, Pederson L, Howe A, Davey RA, Zajac JD, Kobayashi Y, Williams BO, Westendorf JJ, Khosla S and Oursler MJ (2016) Wnt signaling inhibits osteoclast differentiation by activating canonical and noncanonical cAMP/PKA pathways. J Bone Miner Res **31** : 65-75

Mass E, Ballesteros I, Farlik M, Halbritter F, Günther P, Crozet L, Jacome-Galarza CE, Händler K, Klughammer J, Kobayashi Y, Gomez-Perdiguero E, Schultze JL, Beyer M, Bock C and Geissmann F (2016) Specification of tissue-resident macrophages during organogenesis. Science **353** : aaf4238

Iwamoto Y, Uchida K, Sugino N, Kuroiwa H, Kitamura Y, Udagawa N, Shinohara A, Higashi

Y and Taguchi A (2016) Osteoporosis, osteoporotic fractures, and carotid artery calcification detected on panoramic radiographs in Japanese men and women. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol **121** : 673-80

Hao Y, Tsuruda T, Sekita-Hatakeyama Y, Kurogi S, Kubo K, Sakamoto S, Nakamura M, Udagawa N, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Asada Y and Kitamura K (2016) Cardiac hypertrophy is exacerbated in aged mice lacking the osteoprotegerin gene. Cardiovasc Res **110** : 62-72

Tsuruda T, Sekita-Hatakeyama Y, Hao Y, Sakamoto S, Kurogi S, Nakamura M, Udagawa N, Funamoto T, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Kato J, Asada Y and Kitamura K (2016) Angiotensin II stimulation of cardiac hypertrophy and functional decompensation in osteoprotegerin-deficient mice. Hypertension **67** : 848-56

Sugamori Y, Mise-Omata S, Maeda C, Aoki S, Tabata Y, Murali R, Yasuda H, Udagawa N, Suzuki H, Honma M and Aoki K (2016) Peptide drugs accelerate BMP-2-induced calvarial bone regeneration and stimulate osteoblast differentiation through mTORC1 signaling. Bioessays **38** : 717-25

堀部寛治, 中道裕子, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 中村浩彰, 菊池孝信, 平野隆雄, 佐藤敦子, 太田浩一 (2016) マコモタケ由来成分による抗炎症作用. 松本歯学 **42** : 10-5

その他学術著作物

高橋直之 (2016) 歯周炎において歯槽骨吸収はどのように引き起こされるか. 日本歯科医師会雑誌 **69** : 109-17

高橋直之, 中道裕子, 宇田川信之 (2016) ビタミンDによる骨代謝調節. THE BONE **30** : 323-8

宇田川信之, 小出雅則, 溝口利英, 中村美どり, 下平滋隆, 田口 明 (2016) 骨はダイナミックに躍動している. 日本顎交合学会誌 **36** : 161-70

中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之 (2016) ビスホスホネート薬の薬物動態. CLINICAL CALCIUM **26** : 1561-70

小出雅則, 宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構, 第9章 スクレロスタチンによる骨リモデリング制御. THE BONE **30** : 169-73

中村美どり, 中道裕子, 小出雅則, 宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構, 第10章 オステオプロテゲリンによる骨リモデリング制御. THE BONE **30** : 175-80

中道裕子, 高橋直之, 宇田川信之 (2016) 歯髄細胞に関する分子生物学的研究. 腎と骨代謝 **29** : 31-40

宇田川信之 (2016) ASBMR 2016トピックス～基礎研究(破骨細胞・骨吸収関連). CLINICAL

招待講演

- 第4回長野県歯科インプラントネットワークミーティング 2016年3月
再生医療新法（再生医療等の安全性の確保等に関する法律）施行の現状：宇田川信之
松本歯科大学校友会東京都支部学術講演会 2016年4月
骨再生の基礎研究から臨床応用への道：宇田川信之
第30回骨代謝研究会 2016年6月
Wntシグナルによる骨吸収制御機構：小林泰浩
神奈川歯科大学大学院開設40周年記念シンポジウム（横浜）2016年7月
私立大学歯学研究科における人材養成目的と学位授与方針：高橋直之
第3回25（OH）Dを考える会 2016年8月
25（OH）DによるCa代謝調節における骨芽細胞系列のVDRの役割：中道裕子，高橋直之
第13回Bone Biology Forum 2016年8月
Regulation of bone resorption by Wnt signals：Kobayashi Y
第2回Neo Vitamin D Workshop学術集会 2016年8月
骨芽細胞特異的VDR欠損および破骨細胞特異的VDR欠損マウスの表現型～VDR cKOマウスを用いたエルデカルシトール（ELD）の作用効果の解析：中道裕子
第302回東京歯科大学学会総会 2016年10月
骨は生きている—骨吸収と骨形成のカップリング機構—：宇田川信之
Dentistry, Quo Vadis?（東京）2016年12月
細菌と骨代謝：高橋直之
日本私立歯科大学協会第11回教務研修会 2016年12月
歯学教育の現状と課題：宇田川信之

学会発表

- 日本骨免疫学会ウインターセミナー（第1回）2016年1月
PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与：楊 孟雨，溝口利英，西田大輔，小林泰浩，松尾光一，下田耕治，宇田川信之，高橋直之
生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化機構：溝口利英，楊 孟雨，荒井 敦，小守壽文，森石武史，小守寿人，宇田川信之，高橋直之
オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシンK阻害剤投与実験：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之
活性型ビタミンDによる骨量上昇の薬理作用は，骨芽細胞系列のビタミンD受容体（VDR）

を介して発揮される：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，原田 卓，齋藤一史，小林泰浩，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之

歯槽骨吸収モデルに対するW9ペプチドの改善効果：小出雅則，尾崎友輝，古屋優理子，二宮 禎，保田尚孝，中村美どり，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之，吉成伸夫

春季日本歯周病学会学術大会（第59回）2016年5月

W9ペプチドはOPG遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する：尾崎友輝，小出雅則，宇田川信之，吉成伸夫

骨吸収はsclerostinの発現低下を介して骨形成を促進する：小出雅則，尾崎友輝，吉成伸夫，石原裕一，宇田川信之

骨免疫学会（第2回）2016年7月

WntアンタゴニストSfrp5は，関節炎による骨破壊を抑制する：小林泰浩，中村幸男，加藤博之，宇田川信之，高橋直之

オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシンK阻害剤投与：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之

Pkn3はRor2-Rhoシグナルの下流でc-Srcを介して破骨細胞の骨吸収を制御する：上原俊介，山下照仁，中村 貴，加藤茂明，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩

日本骨代謝学会学術集会（第34回）&アジア太平洋骨代謝学会議（第3回）2016年7月

Wnt5-Ror2シグナルによって活性化されるRho-PKN3経路はc-Srcを介して骨吸収を調節する：上原俊介，山下照仁，中村 貴，加藤茂明，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p174, 0-07）

Roles of chemokine-mediated signaling in architectural function of osteoclasts：李 智媛，星野昭芳，井上和樹，上原俊介，小林泰浩，山口 朗，今井祐記，飯村忠浩（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p130）

関節炎によるSfrp5の発現低下はWnt5aによる骨吸収を亢進させる：中村幸男，前田和洋，加藤博之，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p178, 0-24）

PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与：楊 孟雨，溝口利英，宇田川信之，松尾光一，小守壽文，森石武史，小林泰浩，高橋直之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p193, 0-083）

ビタミンDの骨量増加の薬理作用は，破骨細胞ではなく骨芽細胞のVDRを介する：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，細矢明宏，堀部寛治，原田 卓，齋藤一史，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p181, 0-035）

カテプシンK阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p195, 0-092）

Annexin a5による腱・靭帯付着部 (enthesis) における軟骨層の肥大化と石灰化の調節：
島田明美，新井嘉則，和田悟史，出野 尚，中島和久，小松浩一郎，山下照仁，江面陽一，
網塚憲生，中村芳樹，二藤 彰（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p214, P1-56）

歯科基礎医学会学術大会（第58回）2016年8月

Wnt5-Ror2シグナルはRho-PKN3-c-Src経路を介して破骨細胞の骨吸収活性を制御する：上原俊介，山下照仁，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩（第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集：p268, 02-D24）

W9ペプチドのヒト破骨細胞分化抑制作用と骨芽細胞分化促進作用：中村美どり，小出雅則，山下照仁，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之（第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集：p305, P1-35）

The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2016 Annual Meeting
2016年9月

Treatment of cathepsin K inhibitor in osteoprotegerin-deficient mice inhibits bone resorption and stimulates bone formation: Nakamura M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Takahashi N and Udagawa N (Journal of Bone Miner Res **31**: p344)

日本歯科医学会総会（第23回）2016年10月

W9ペプチドはOsteoprotegerin遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する：尾崎友輝，小出雅則，二宮 禎，中村美どり，高橋直之，宇田川信之，吉成伸夫

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

カタペシンK阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩，高橋直之，上原俊介，山下照仁，平賀 徹：Wntシグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発（基盤研究A）

高橋直之，小林泰浩，中村浩彰，南 康博，宇田川信之，荒 敏昭：骨代謝共役を担うクラストカイン—Wntシグナルネットワークの解明（基盤研究B）

宇田川信之，小出雅則，中道裕子，中村美どり，溝口利英，上原俊介：破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発（基盤研究B）

宇田川信之，山下照仁，小林泰浩，上原俊介：カルシトニン中枢神経ホルモンとして出現したか（挑戦的萌芽研究）

山下照仁，二宮 禎，高橋直之：骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索（基盤研究C）

溝口利英，小林泰浩，中道裕子：間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解

析（基盤研究C）

小出雅則，二宮 禎，宇田川信之：歯槽骨吸収モデルを用いたRANK様ペプチドによる骨再生の試み（基盤研究C）

中村美どり，中村浩志，中道裕子，宇田川信之：硬組織再生におけるヒト歯髄細胞の有用性に関する研究（基盤研究C）

中道裕子，宇田川信之：非典型的Wnt受容体Rykシグナルによる骨形成および骨ミネラル代謝制御機構の解明（基盤研究C）

平岡行博，山下照仁，中道裕子：歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発：その基礎的研究（挑戦的萌芽研究）

島田明美，二藤 彰，和田悟史，山下照仁：アネキシンA5による腱・靭帯と骨付着部（enthesis）のリモデリングの制御（基盤研究C）

吉成伸夫，小出雅則，田口 明：血清アミロイドAを介した歯周病から動脈硬化症悪化機序に対する老化への影響（基盤研究C）

石原裕一，吉成伸夫，小出雅則：クロフィブラートのIL-1Ra産生と実験的歯周炎抑制効果に関する研究（基盤研究C）

二宮 禎，小出雅則，中村浩彰，平賀 徹：細胞間ミトコンドリア輸送因子RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析（基盤研究C）

上原俊介，小林泰浩，細矢明宏：Pkn3が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明（基盤研究C）

荒井 敦，小林泰浩，山田一尋，溝口利英：矯正力負荷は破骨細胞前駆細胞のオートファジーを誘導するか？（基盤研究C）

中村浩志，八上公利，宇田川信之，大須賀直人，定岡 直，中村美どり：植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用（基盤研究C）

齋藤直人，佐々木克典，樽田誠一，宇田川信之，Kim Yoong Ahm：CNTを応用した高機能生体材料創製のためのCNT・生体界面技術の構築と安全性評価（基盤研究A）

その他の研究助成

高橋直之，中道裕子：骨芽細胞および骨細胞に発現するビタミンD受容体（VDR）の骨ミネラル代謝および骨形成における役割（中外製薬株式会社，研究活動への支援（寄付金））

高橋直之：新規分子標的薬の作用メカニズム研究（第一三共株式会社との共同研究）

高橋直之，中道裕子：25（OH）Dに関する研究（ファンケルとの共同研究）

硬組織疾患制御再建学講座

硬組織発生・再生工学

Hiraga T, Ito S and Nakamura H (2016) EpCAM expression in breast cancer cells is associated with enhanced bone metastasis formation. *Int J Cancer* **138** : 1698-708

Hiraga T and Nakamura H (2016) Comparable roles of CD44v8-10 and CD44s in the development of bone metastases in a mouse model. *Oncol Lett* **12** : 2962-9

Shigetani Y, Ohkura N, Yoshiba K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshiba N and Okiji T (2016) GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves DMP1 and osteopontin expression. *Oral Dis* **22** : 399-405

堀部寛治, 中道裕子, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 中村浩彰, 菊池孝信, 平野隆雄, 佐藤敦子, 太田浩一 (2016) マコモタケ由来成分による抗炎症作用. *松本歯学* **42** : 10-5

Hirata A, Katayama K, Tsuji T, Imura H, Natsu-me N, Sugahara T, Kunieda T, Nakamura H and Otsuki Y (2016) Homeobox family Hoxc localization during murine palate formation. *Congenit Anom (Kyoto)* **56** : 172-9

Kagami H (2016) Potential application of tissue engineering for the reconstruction of facial bones. *Oral Dis*. doi: 10.1111/odi.12581. [Epub ahead of print]

Hori A, Agata H, Takaoka M, Tojo A and Kagami H (2016) Effect of cell seeding conditions on the efficiency of in vivo bone formation. *Int J Oral Maxillofac Implants* **31** : 232-9

Yoshizawa M, Niimi K, Sugai T, Aoyama S, Koyama T, Inoue M and Kobayashi T (2016) Cervical resorption of autotransplanted tooth with complete root formation. *JSM Dentistry* **4** : 1066

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone loss. *Clin Exp Dent Res* **2** : 65-72

船山昭典, 三上俊彦, 長谷部大地, 芳澤享子, 小林正治 (2016) ツキノワグマによる下顎骨粉碎骨折の1例. *日口外傷誌* **15** : 32-7

船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 小田陽平, 新美奏恵, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治 (2016) 下顎歯肉扁平上皮癌の臨床的検討. *新潟歯学会雑誌* **46** : 21-6

小林明人, 田口 明, 篠原 淳, 各務秀明 (2016) 根管充填剤の逸出に起因した上顎洞炎の1症例. *松本歯学* **42** (1) : 25-31

内田啓一, 落合隆永, 齋藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀明, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の1例. *松本歯学* **42** (2) : 104-10

細矢明宏 (2016) 象牙芽細胞の分化と歯髄の硬組織形成能. 腎と骨代謝 29 : 25-30

学会発表

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会 シンポジウム3 再生医療からこれからのインプラント治療を考える (東京) 2016年2月

骨再生とは何か: 細胞を用いた骨再生治療から学んだこと: 各務秀明, 井上 実, 朝比奈 泉

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会 (東京) 2016年2月

自己骨髄間質細胞を用いた歯槽骨再生治療臨床研究: 長期経過に関する検討: 井上 実, 各務秀明, 田口 明, 朝比奈 泉

再生骨移植局所の炎症サイトカインの経時的な変化に関する検討: 李 憲起, 千原隆弘, 古田浩史, 楊 静, 各務秀明

日本解剖学会総会・全国学術集会 (第121回) 2016年3月

セロトニン-セロトニントランスポーター局在から検討したセロトニン代謝と口蓋形成のメカニズム: 平田あずみ, 伊藤裕子, 前村憲太郎, 中村浩彰, 大槻勝紀 (第121回日本解剖学会総会全国学術集会講演プログラム抄録集: p137, 30amG-2)

The 57th Congress of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Gunsan, Korea 2016年4月

Tissue - engineered oral mucosa fabricated with oral keratinocyte - enriched populations of small - sized progenitor/stem cells maintains a high potential of regeneration post-grafting in mice: Yoshi-zawa M, Koyama T, Funayama A, Mikami T and Kobayashi T

1st Congress on Tooth Transplantation, Sopot, Poland 2016年5月

A review of eight autotransplanted teeth with complete root formation: Kazuhiro I, Yoshizawa M, Yoshizawa M, Funato A, Ihyo C, Furusato M, Hayashida T and Ishii N (1st Congress on Tooth Transplantation, Programme, p12)

IADR Pulp Biology Regeneration Group Symposium 2016 2016年6月

Fibrillin-1 microfibrils influence human dental pulp regeneration: Yoshiba N, Yoshiba K, Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Hosoya A, Nakamura H and Okiji T

第40回日本頭頸部癌学会 (埼玉) 2016年6月

口腔癌患者における同時性重複癌の臨床的検討: 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治 (頭頸部癌 42 (2) : 252)

第42回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会・第54回NPO法人日本口腔科学会北日本支部会 (山形) 2016年6月

残留した残根が顎骨内を深部へ移動した1例：金丸祥平，芳澤享子，船山昭典，池 真樹子，阿部達也，林 孝文，朔 敬，小林正治

第100回日本形成外科学会関東支部新潟地方会（新潟）2016年7月

下顎骨区域切除術における三次元立体モデルを用いて作製したサージカルガイドの有用性：小島 拓，加藤祐介，長谷部大地，三上俊彦，芳澤享子，小林正治

日本骨代謝学会学術集会（第34回）2016年7月

ビタミンDの骨量増加の薬理作用は，破骨細胞ではなく骨芽細胞のVDRを介する：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，細矢明宏，堀部寛治，原田 卓，斎藤一史，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之（第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p181，0-35）

骨髄間葉系細胞におけるCD91の機能的役割：二宮 禎，細矢明宏（第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p225，P2-39）

歯科基礎医学会学術大会（第58回）2016年8月

抜歯痕修復における間葉系幹細胞のCD91の機能的役割：二宮 禎，細矢明宏，中村浩彰（第58回歯科基礎医学会学術大会プログラム抄録集：p347，P1-77）

スフェロイド形成による骨髄由来間葉系幹細胞の軟骨細胞への分化誘導：中塚美智子，細矢明宏，隈部俊二，田村 功（第58回歯科基礎医学会学術大会プログラム抄録集：p472，P2-48）

第26回日本口腔内科学会（岡山）2016年9月

関節リウマチ患者に発症した舌難治性潰瘍の一例：新美奏恵，芳澤享子，林 孝文，小林正治（プログラム抄録集：p108）

第46回（公社）日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）2016年9月

ヒト抜歯後歯槽堤における骨改造現象と骨代謝活性の抜歯後期間による違い：田中みか子，三上絵美，櫻井直樹，芳澤享子，荒井良明，山田一穂，江尻貞一，小野高裕

日本歯科保存学会秋期学術集会（第145回）2016年10月

象牙芽細胞分化におけるポリコーム群タンパク質Bmi1の機能：細矢明宏，吉羽邦彦，吉羽永子，鷺尾絢子，諸富孝彦，北村知昭，山本昭夫，中村浩彰（プログラム抄録集：p43，A17-1610）

第23回歯科医学会総会シンポジウム（福岡）2016年10月

骨再生治療：基礎研究から臨床応用まで骨髄間質細胞を用いた骨再生治療：各務秀明，井上 実，朝比奈 泉，宇田川信之

第61回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

T2緩和差を利用した³¹P-NMRによる非侵襲的な新生骨量・骨量測定法の開発：斉藤安奈，八上公利，高田匡基，井上 実，森 こず恵，李 憲起，田口 明，各務秀明，芳澤享子，篠原 淳

第61回日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

骨分化誘導と低酸素処理併用によるラット間葉系細胞の多面的骨誘導能促進効果の検討：齋藤直朗，小島 拓，須田大亮，原 夕子，芳澤享子，小林正治（プログラム抄録集：p3）

特別講演

第20回歯の発生生物学と再生に関するシンポジウム 2016年3月

ポリコーム群タンパク質Bmi1による象牙芽細胞分化調節：細矢明宏

Tenth People's Hospital Tongji University, China 2016年12月

Somatic stem cells and their application for bone tissue engineering：Kagami H

1st Congress on Tooth Transplantation, Key-Note Lectures, Sopot, Poland 2016年5月

Autotransplantation of teeth with complete root formation - from indication to prognosis：Yoshi-zawa M

講演会

総合インプラント研究センター（GIRC）学術講演会 2016年3月

「幹細胞と再生医療—iPS細胞から歯槽骨再生まで—再生医療の基礎知識について」：各務秀明

信州大学歯科口腔外科講演会（松本）2016年6月

「歯の移植の予後予測は可能か？」：芳澤享子

新潟大学歯学部同窓会石川県支部「六華会」学術講演会（金沢）2016年10月

「歯の移植—適応症判定から予後予測まで—」：芳澤享子

松本歯科大学市民公開講座（塩尻）2017年1月

「むし歯と歯周病だけではない口の中の病気」：芳澤享子

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平賀 徹，二宮 禎，細矢明宏：がん幹細胞マーカー分子EpCAMの骨転移に対する機能的役割（基盤研究C）

二宮 禎，平賀 徹，中村浩彰，小出雅則：細胞間ミトコンドリア輸送因子RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析（基盤研究C）

細矢明宏，吉羽邦彦，中村浩彰，平賀 徹，溝口利英：転写因子Gli1陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析（基盤研究C）

中塚美智子，隈部俊二，乾 千珠子，細矢明宏，岩井康智：細胞シートを用いた下顎頭

再生への試み（基盤研究C）

中村浩彰，二宮 禎，細矢明宏，堀部寛治，雪田 聡：M2マクロファージの修復象牙質形成への関与と新規歯髄再生療法の開発（挑戦的萌芽研究）

吉羽邦彦，吉羽永子，大倉直人，細矢明宏：象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明（基盤研究B）

上原俊介，細矢明宏：Pkn3が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明（基盤研究C）

各務秀明：次世代骨再生法開発のための基盤研究（基盤研究B（代表））

各務秀明：凍結細胞スフィアを用いた簡便な新規in vitro毒性評価系評の確立（挑戦的萌芽研究（代表））

各務秀明：新たな細胞凍結技術を用いたin vitro試験システムの開発（挑戦的萌芽（分担））

各務秀明：Direct Conversion誘導基質による臍帯由来細胞からの骨再生法の開発（基盤研究B（分担））

芳澤享子：口腔粘膜上皮前駆／幹細胞による粘膜再生機構の解明—血管新生の意義—（基盤研究C（代表））

芳澤享子：間葉系幹細胞の移植後動態と骨再生能の解析—骨髄と脂肪組織の比較—（基盤研究C（分担））

芳澤享子：より均一な口腔粘膜上皮前駆／幹細胞による凍結培養粘膜の開発（基盤研究C（分担））

芳澤享子：mTOR阻害剤による口内炎の発症（機序の解明C（分担））

硬組織疾患制御再建学

遺伝子工学・分子創薬学

著書

今村泰弘（分担執筆）（2016）徹底レクチャー 唾液・唾液腺 第II章 唾液の検査 3
唾液検査とその有用性，p62-6，金原出版，東京

論文発表

Sogawa C, Ikegame M, Miyazaki I, Ara T, Ima-mura Y, Okusha Y, Ohyama K, Asanuma M, So-gawa N, Yamamoto T and Kozaki K (2016) Changes in metallothionein isoform expression in the bones of ovariectomized rats. J Hard Tissue Biol **25** (1) :21-6

Ara T and Sogawa N (2016) Studies on shokyo, kanzo, and keihi in kakkonto medicine on prostaglandin E₂ production in lipopolysaccharide - treated human gingival

fibroblasts. Int Sch Res Notices: 9351787

Imamura Y, Wang PL, Masuno K and Sogawa N (2016) Salivary protein histatin 3 regulates cell proliferation by enhancing p27Kip1 and heat shock cognate protein 70 ubiquitination. Biochem Biophys Res Commun **470** (2) : 269-74

牧 茂, 荒 敏昭, 竹内由里, 岩井由紀子, 吉成伸夫, 佐藤 晶, 前島信也 (2016) 現在歯数の関連する因子—特に生理学的, 血液生化学的, 栄養学的視点から—. 松本歯学 **42** : 16-22

学会発表

第89回日本薬理学会年会 (横浜) 2016年3月

The mechanism of antiinflammatory effect of kakkonto: Ara T and Sogawa N (抄録集 : 2-P-118)

第82回松本歯科大学学会 2016年7月

*Porphyromonas gingivalis*の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 中村 卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

マウスにおける*Porphyromonas gingivalis*の硫化水素産生酵素による生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 平岡行博, 吉田明弘 (抄録集 : p544)

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

唾液ヒスタチンとペプチドグリカンの結合によるToll様受容体2シグナルへの影響 : 今村泰弘, 王 宝禮, 十川紀夫 (抄録集 : p459)

第23回日本歯科医学会総会 (福岡) 2016年10月

プラセンタ (胎盤製剤) の歯周病治療有効性への基礎医学的解明 : 廣田 健, 今村泰弘, 中村弘江, 益野一哉, 王 宝禮

特別講演

岡山大学歯学部岡山歯学会 特別講演 2016年10月

金属結合蛋白質メタロチオネイン研究のこれまでとこれから : 十川紀夫

講演会

岡山大学歯学部同窓会岡山県支部セミナー 2016年1月

薬理学からみた関白亭主の発言「飯! ○○寝る!」 : 十川紀夫

松本歯科大学校友会岡山県支部学術講演会 2016年8月

摂食・睡眠にまつわる薬のサイエンス：土川紀夫

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平岡行博，山下照仁，中道裕子：歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発：その基礎的研究（挑戦的萌芽（代表））

土川紀夫：神経伝達物質トランスポーター阻害効果に着目した新規神経障害性疼痛治療薬の開発（基盤研究C（分担））

荒 敏昭：骨代謝共役を担うクラスロカイン-Wntシグナルネットワークの解明（基盤研究B（分担））

今村泰弘：唾液ヒスタチンによるインフルエンザウイルス感染とその誘導性炎症の抑制機構解明（基盤研究C（代表））

その他の研究補助金による研究

土川紀夫：ニコチンによるノルアドレナリントランスポーター発現調節機構の解明（喫煙科学研究財団研究助成金（共同研究者））

硬組織疾患制御再建学

硬組織疾患病態解析学

論文

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H, Ochiai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice. *Int J Med Sci* **13** : 220-4

篠塚功一，小笠原 正，岩崎仁史，磯野員達，轟 かほる，岡田芳幸，齧島弘之，沈 發智，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，柿木保明（2016）経管栄養の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因。障歯誌 **37** : 22-7

古田浩史，八上公利，北村 豊，森 こず恵，落合隆永，内田啓一，田口 明，篠原 淳（2016）治癒が得られた上顎のデノスマブ関連顎骨壊死の1例。日口診誌 **29** : 98-103

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. *Int J Med Sci* **13** : 500-6

Matsuoka S, Fujikawa H, Hasegawa H, Ochiai T, Watanabe Y and Moriyama M (2016)

Onset of tuberculosis from a pulmonary latent tuberculosis infection during antiviral triple therapy for chronic hepatitis C. Intern Med **55** : 2011-7

Ueda Y, Nakano K, Ochiai T, Yoshida W, Sugita Y, Kubo K, Maeda H, Hasegawa H and Kawakami T (2016) A possible functional role of HSP27 as a molecular chaperon of Wnt1 in cell differentiation of pleomorphic adenomas. Int J Dent Oral Sci **3** : 340-3

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T and Kawakami T (2016) Fncional role of HSP47 in the periodontal ligament subjected to occlusal overload in mice. Int J Med Sci **13** : 248-54

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatsuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. Int J Dent Oral Sci **S9** : 001, 1-7

内田啓一, 落合隆永, 齊藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀明, 篠原 淳, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の1例. 松本歯学 **42** : 104-10

山田真一郎, 内田啓一, 高田匡基, 嶋田勝光, 落合隆永, 杉野紀幸, 長谷川博雅, 各務秀明, 田口 明 (2016) 上顎洞内に広範に進展したKeratocystic Odontogenic Tumorの1例. 松本歯学 **42** : 111-7

Hiraga T, Ito S and Nakamura H (2016) EpCAM expression in breast cancer cells is associated with enhanced bone metastasis formation. Int J Cancer **138** : 1698-708

Hiraga T (2016) Targeted agents in preclinical and early clinical development for the treatment of cancer bone metastases. Expert Opin Investig Drugs **25** : 319-34

Hiraga T and Nakamura H (2016) Comparable roles of CD44v8-10 and CD44s in the development of bone metastases in a mouse model. Oncol Lett **12** : 2962-9

学会発表

American (45th) and Canadian (40th) Association for Dental Research, Los Angeles, CA, USA 2016年3月

Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawa-kami T: HSP70 expression as recovery reaction in the mouse periodontal tissues (Abstract #1429; Web Abstract; <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56320>; <https://aadr2016.zerista.com/event/member/238712>)

日本病理学会総会 (第105回) (仙台) 2016年5月

多形腺腫のWntによる細胞分化におけるHSPの分子シャペロンとしての可能性 : 中野敬介, 上田優貴子, 杉田好彦, 久保勝俊, 前田初彦, 川上敏行, 松田寛之, 迂 松, 長塚 仁 (日病会誌 **105** (1) : 423, 2016)

日本骨代謝学会学術集会（第34回）2016年7月

がん骨転移形成におけるCD44v8-10とCD44sの機能比較：平賀 徹（第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p182, 0-132）

日本癌学会学術総会（第75回）2016年10月

EpCAMは乳がん細胞の癌幹細胞様および上皮細胞様形質の発現を介し骨転移を促進する：平賀 徹（第75回日本癌学会学術総会プログラム抄録集：p148, J-2064）

日本骨軟部腫瘍研究会（第56回）2016年6月

下顎骨病変：落合隆永，嶋田勝光，保坂典子，長谷川博雅（プログラム抄録集：p6）

松本歯科大学学会（第82回）2016年7月

口腔扁平苔癬のTransglutaminaseとSmall proline-rich proteinの局在：嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅（松本歯学 42：211）

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭付着物の由来：宮原康太，篠塚功一，岩崎仁史，鈴木貴之，伊沢正行，嶋田勝光，落合隆永，岡田芳幸，齋島弘之，長谷川博雅，小笠原 正（松本歯学 42：213）

日本臨床口腔病理学会（第27回）2016年8月

Cornified cell envelope related proteins in ghost cells：Ochiai T，Shimada K and Hasegawa H（プログラム抄録集：p162）

エナメル上皮線維腫におけるWntの免疫組織化学的検討：中野敬介，高島清文，浜田芽衣，藤井昌江，吉田和加，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，川上敏行，長塚 仁（プログラム抄録集：p163）

下顎歯肉にみられた形質芽球性リンパ腫の1例：大野淳也，東理頼亮，赤柴 竜，水谷太尊，山蔦毅彦，山口 晃，土持 眞，落合隆永，長谷川博雅，岡田康男（プログラム抄録集：p172）

口腔扁平苔癬における上皮の異常角化：small proline rich proteinとtransglutaminaseの局在：嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅（プログラム抄録集：p180）

硬組織再生生物学会総会（25回）2016年8月

ラット皮下組織における吸収性縫合糸に対する組織反応：中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（J Hard Tissue Biol 25：400，2016；プログラム抄録集：p42）

コレステリン肉芽腫における骨髄由来の血管内皮細胞の増殖：松田紗衣佳，中野敬介，正村正仁，大須賀直人，落合隆永，辻極秀次，長塚 仁，長谷川博雅，川上敏行（J Hard Tissue Biol 25：400（プログラム抄録集：p43））

歯科基礎医学会（第58回）2016年8月

角化嚢胞性歯原性腫瘍の角化機序：落合隆永，中野敬介，長谷川博雅（プログラム抄録集：p521）

中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行：吸収性縫合糸に対するラッ

ト皮下組織の反応 (J Oral Biosci **58** (S) : 385, 2016)

日本口腔科学会中部地方部会 (第59回) 2016年9月

多形腺腫における Wnt シグナルと細胞分化: 上田優貴子, 中野敬介, 鳥井 康, 吉田和加, 杉田好彦, 久保勝俊, 前田初彦, 長谷川博雅, 川上敏行 (プログラム抄録集: p28)

口腔扁平苔癬における上皮の角化異常: 周辺帯形成基質と架橋酵素の局在: 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅 (プログラム抄録集: p29)

骨髄間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖: 松田紗衣佳, 中野敬介, 正村正仁, 大須賀直人, 落合隆永, 辻極秀次, 長塚 仁, 長谷川博雅, 川上敏行 (プログラム抄録集: p33)

歯科矯正学的メカニカルストレスによる歯周組織の改造: 金子圭子, 松田紗衣佳, 村岡理奈, 中野敬介, 富田美穂子, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行 (プログラム抄録集: p25)

メカニカルストレスが惹起するマウス歯根膜の傷害と回復におけるHSP70の発現推移: 村岡理奈, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム抄録集: p25)

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織におけるHSP47 の発現推移: 三村泰亮, 高谷達夫, 中野敬介, 松田紗衣佳, 富田美穂子, 岡藤範正, 藤井健男, 川上敏行 (プログラム抄録集: p26)

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治癒: 高谷達夫, 三村泰亮, 松田紗衣佳, 中野敬介, 辻極秀次, 富田美穂子, 岡藤範正, 藤井健男, 川上敏行 (プログラム抄録集: p27)

歯髄における傷害反応とその回復におけるHSPの発現: 斉藤進之介, 鍋山篤史, 中野敬介, 岡藤範正, 川上敏行 (プログラム抄録集: p28)

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行 (プログラム抄録集: p29)

Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine, Torino, Italy (13th) 2016年9月

Cornified cell envelope related proteins in odontogenic tumors: Ochiai T, Shimada K and Hase-gawa H (Oral disease **22** (S2) : 12-3)

Small proline-rich proteins in keratocystic odontogenic tumor: Shimada K, Ochiai T and Hasegawa H (Oral disease **22** (S2) : 40)

Cell migration and differentiation of BMDCs into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (A07 ; Oral Dis **22** (S2) : 11, 2016)

HSP70 in recovery of the mouse PDL by mechanical stress: Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (A12 ; Oral Dis **22** (S2) : 12, 2016)

Notch act as cell differentiation factor in pleomorphic adenomas: Kawakami T, Nakano K, Ochiai T, Sugita Y, Kubo K, Maeda H and Hasegawa H (B091 ; Oral Dis **22** (S2) :

34, 2016)

日本口腔診断学会学術大会（第29回）2016年9月

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症の1例：森 啓，内田啓一，落合隆永，杉野紀幸，石原裕一，富田美穂子，吉成伸夫，田口 明（日口診誌 30：145，2017）

日本障害者歯科学会総会学術集会（第33回）2016年9月

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭付着物は何か？：樋口雄大，篠塚功一，宮原康太，轟 かほる，藤田恵未，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，藤井 航，柿木保明，大野友久，角 保徳，岡田芳幸，齧島弘之，小笠原 正（障歯誌 37：248）

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか？—病理学的・細菌学的検討—：宮原康太，篠塚功一，石原紀彰，松村康平，久野 喬，塚田久美子，福澤雄司，井上恭代，副島之彦，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，岡田芳幸，齧島弘之，小笠原 正（障歯誌 37：249）

日本病理学会秋季特別大会（第62回）2016年11月

正常顎下腺におけるmammaglobin産生細胞の分布：嶋田勝光，落合隆永，川上敏行，長谷川博雅（Program P4；日病会誌 105（2）：79）

口腔外科学会総会（第61回）2016年11月

多形腺腫においてHSP27がWnt1の分子シャペロンとしての機能的役割の可能性：上田優貴子，中野敬介，落合隆永，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（日口外誌 62（S）：275）

日本矯正歯科学会大会（第75回）（徳島）2016年11月

歯科矯正学的メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜におけるHSP70の免疫組織化学的発現推移：村岡理奈，中野敬介，川上敏行，山田一尋（プログラム抄録集：p187）

日本病理学会秋期特別総会（第62回）（金沢）2016年11月

P1-14. 正常顎下腺におけるmammaglobin産生細胞の分布：嶋田勝光，落合隆永，川上敏行，長谷川博雅（Program P4；日病会誌 105（2）：79，2016）

日本口腔外科学会総会（61回）（千葉）2016年11月

多形腺腫においてHSP27がWnt1の分子シャペロンとしての機能的役割の可能性：上田優貴子，中野敬介，落合隆永，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（日口外誌 62（S）：275，2016）

日本肝臓学会東部会（第41回）2016年12月

脾臓低形成を背景に連続肝生検で多彩な病理像を呈したPBC hepatic formの1例：藤川博敏，宮川 浩，長谷川博雅，渡邊幸信，有間修平，藤井徹郎，堤 菜津子，三浦隆生，宇野昭毅，松岡俊一，森山光彦

当院で経験した重症型自己免疫性肝炎の3例：藤井徹朗，藤川博敏，三浦隆生，長谷川博雅，松岡俊一，森山光彦，菊池健太郎，宮川 浩，斎藤 聡，中島 淳

講演

第19回癌と骨病変研究会 2016年11月

がん幹細胞—骨髄ニッチ間相互作用を介した骨転移機構：平賀 徹

日本口腔科学会中部地方部会（59回）（塩尻）2016年9月

歯周組織の傷害と修復のメカニズム—発生生物学の視点から—：川上敏行（プログラム抄録集：p13）

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

長谷川博雅，中野敬介，落合隆永：顎骨部腫瘍の形質発現に関わる分子病理（基盤研究C）

落合隆永：顎骨部病変の形質発現と形態変化に関わる分子病理（若手研究B）

小笠原 正，落合隆永，長谷川博雅：要介護者の口腔内にみられる付着物の病態解明と除去効果に関する研究（基盤研究C）

平賀 徹，二宮 禎，細矢明宏：がん幹細胞マーカー分子EpCAMの骨転移に対する機能的役割（基盤研究C）

二宮 禎，平賀 徹，中村浩彰，小出雅則：細胞間ミトコンドリア輸送因子RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析（基盤研究C）

細矢明宏，吉羽邦彦，中村浩彰，平賀 徹，溝口利英：転写因子Gli1陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析（基盤研究C）

小林泰浩，平賀 徹，高橋直之，山下照仁，上原俊介：Wntシグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発（基盤研究A）

川上敏行，中野敬介，富田美穂子，辻極秀次：骨髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明（基盤研究C）

中野敬介，川上敏行，辻極秀次，村岡理奈：骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究C）

富田美穂子，川上敏行，寺田智新：ストレスによる生体反応が痛覚伝導路に与える影響（基盤研究C）

正村正仁，中野敬介，辻極秀次，川上敏行，大須賀直人：象牙質歯髄複合体の修復における骨髄間葉系細胞の関与（基盤研究C）

硬組織疾患制御再建学講座

生体材料学

著書

永澤 栄 (分担執筆) (2016) スタンダード歯科理工学 第6版 学建書院

論文発表

Ito K, Turcotte R, Cui J, Zimmerman SE, Pinho S, Mizoguchi T, Arai F, Runnels JM, Alt C, Teru-ya-Feldstein J, Mar JC, Singh R, Suda T, Lin CP, Frenette PS and Ito K (2016) Self-renewal of a purified Tie2+ hematopoietic stem cell population relies on mitochondrial clearance. Science **354** : 1156-60

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yama-shita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. J Bone Miner Metab **34** : 395-405

特別講演

SKIP (Stem cell Knowledge and Information Portal) セミナー (第26回) 2016年2月
細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明：溝口利英
第29回日本軟骨代謝学会 2016年2月

発生過程における骨髄間葉系幹細胞の起源：溝口利英

口腔医科学フロンティア研究会 (第1回) 2016年2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明：溝口利英
日本炎症再生医学会2016年6月 (第37回)

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明：溝口利英
日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月

破骨細胞と骨芽細胞の起源：溝口利英

歯科基礎医学会学術大 (第58回) 2016年8月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の解析：溝口利英

Craniofacial and Stem Cell Biology Seminar (第2回) ECM Society (第153回) 2016年
10月

生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と制御機構の解析：溝口利英

学会発表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第1回) 2016年1月

PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与：楊 孟雨, 溝口利英, 西田大輔,
小林泰浩, 松尾光一, 下田耕治, 宇田川信之, 高橋直之

生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化機構：溝口利英，楊 孟雨，荒井 敦，小守壽文，森石武史，小守寿人，宇田川信之，高橋直之

オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシンK阻害剤投与実験：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之

活性型ビタミンDによる骨量上昇の薬理作用は，骨芽細胞系列のビタミンD 受容体（VDR）を介して発揮される：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，原田 卓，斎藤一史，小林泰浩，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之

日本骨代謝学会（第34回）2016年7月

PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与：楊 孟雨，溝口利英，宇田川信之，松尾光一，小守壽文，森石武史，小林泰浩，高橋直之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p193，0-083）

ビタミンDの骨量増加の薬理作用は，破骨細胞ではなく骨芽細胞のVDRを介する：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，細矢明宏，堀部寛治，原田 卓，斎藤一史，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p181，0-035）

カテプシンK阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p195，0-092）

第46回日本口腔インプラント学会学術大会 2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリューピンの効果について—非線形有限要素法による解析—：永澤 栄，竹内 賢，新村弘子，黒岩昭弘

日本補綴歯科学会平成28年度東海支部学術大会 2016年11月

CAD/CAM用レジンプロックとレジンセメントとの接着における問題点：岡崎耕典，中村典正，三溝恒幸，永澤 栄，黒岩昭弘

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

カテプシンK阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

溝口利英，小林泰浩，中道裕子：間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解析（基盤研究C）

その他の研究助成

溝口利英：血管内皮細胞を標的とした代謝性骨疾患治療法の開発（三井生命厚生財団，医学研究助成）

受託研究

永澤 栄：アバットメントスクリュの緩み防止性能の解析（株式会社松風）

硬組織疾患制御再建学

臨床病態評価学

著書

山田一尋（分担執筆）（2016）すぐひらける，現場で役立つ歯科衛生士のためのポケット版最新歯科用語辞典，編集者「栢 豪洋，升井一朗，石川隆義，玄 景華，小菅直樹，雫石 聡，濱元和美，本間和代，鱒見進一」p10, 19, 35, 47, 71, 79, 83, 109, 113, 122, 140, 168, 174, 175, 176, 186, 194, 202, 204, 223, 245, 248, 260, 261, 278, 292, 293, 298, 306, 313, 333, 335, クインテッセンス出版，東京

論文発表

Kaede K, Kato T, Yamaguchi M, Nakamura N, Yamada K and Masuda Y (2016) Effects of lip-closing training on maximum voluntary lip-closing force during lip pursing in healthy young adults. J Oral Rehabil **43** : 69-75

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Kibayashi K, Sakurada K and Uemura K (2016) Pilot study to establish a nasal tip prediction method from unknown human skeletal remains for facial reconstruction and skull photo superimposition as applied to a Japanese male populations. J Forensic Leg Med **38** : 75-80

影山 徹, 山田 一尋 (2016) 「三大学の臨床は今—基礎的・臨床的研究を踏まえ—」松本歯科大学で行われている基礎・臨床研究を踏まえて実践する臨床の現状. 甲北信越矯正歯科学会雑誌 **24** : 11-7

Takahashi M, Uchida K, Yamada S, Sugino S, Higashi Y, Yamada K and Taguchi A (2016) Association between number of teeth present and mandibular cortical erosion in Japanese men and women aged 40 years and older: A cross-sectional study. Osteoporosis and Sarcopenia **2** : 250-5

本藤景子, 山田一尋 (2016) 下顎骨側方偏位量と骨格性下顎前突者のスマイル時の口唇運動と正面顎顔面骨格形態の関連. Orthodontic Waves-Japanese Edition **75** : 89-96

星野正憲, 山田一尋 (2016) 骨格性下顎前突者における主機能部位. *Orthod Waves Jpn Ed* **76** : Accepted

徳田吉彦, 唐澤基央, 影山 徹, 山田一尋 (2016) 松本歯科大学病院矯正歯科における顎変形症患者の臨床統計的検討. *松本歯学* **43** : Accepted

Koide D, Yamada K, Yamaguchi A, Kageyama T and Taguchi A (2016) Morphological changes in the temporomandibular joint after orthodontic treatment for Angle Class II malocclusion. *Cranio* **35** : Accepted

Takehana Y, Masuda Y, Kageyama T, Okazaki R, Murakami M and Yamada K (2016) The relationship between lip-closing force and dental arch morphology in patients with Angle Class I malocclusion. *J Oral Rehabil* **44** : Accepted

Luo T, Liu H, Feng W, Liu D, Du J, Sun J, Wang W, Han X, Guo J, Amizuka N, Li X and Li M (2016) Adipocytes enhance the expression of osteoclast adhesion-related molecules through CXCL12/CXCR4 signaling pathway. *Cell Prolif.* doi: 10.1111/cpr.12317

Nakamura Y, Suzuki T, Kamimura M, Ikegami S, Murakami K, Uchiyama S, Kato H and Taguchi A (2016 in press) Two-year clinical outcome of denosumab treatment alone and in combination with teriparatide in Japanese treatment-naive osteoporotic patients. *Bone Res*

Khan AA, Morrison A, Hanley DA, Felsenberg D, McCauley LK, O'Ryan F, Reid IR, Ruggiero S, Taguchi A, Tetradis S, Watts NB, Brandi ML, Peters E, Guise T, Eastell R, Cheung AM, Morin S, Masri B, Cooper C, Morgan S, Obermayer-Pietsch B, Langdahl BL, Al Dabagh R, Davison KS, Kendler D, Sándor GK, Van Poznak C, Josse RG, Bhandari M, El Rabbany M, Pierroz D, Sulimani R, Saunders D, Brown JP (2016 published online) Compston J on behalf of the International Task Force on Osteonecrosis of the Jaw. *J Clin Densitom* **20** : 8-24

Yoneda T, Hagino H, Sugimoto T, Ohta H, Takahashi S, Soen S, Taguchi A, Nagata T, Urade M, Shibahara T and Toyosawa S (2016 published online) Anti-resorptive agent-related osteonecrosis of the jaw: Position Paper 2017 of the Japanese Allied Committee on Osteonecrosis of the Jaw. *J Bone Miner Metab* **35** : 6-19

Nakamura T, Fukunaga M, Nakano T, Kishi-moto H, Ito M, Hagino H, Sone T, Taguchi A, Tanaka S, Ohashi M, Ota Y and Shiraki M (2016 published online) Efficacy and safety of once-yearly zoledronic acid in Japanese patients with primary osteoporosis: Two-year results from a randomized placebo-controlled double-blind study (Zoledro Nate treatment in Efficacy to osteoporosis; ZONE Study) . *Osteoporos Int* **28** : 389-98

Kamimura M, Nakamura Y, Ikegami S, Uchi-yama S, Kato H and Taguchi A (2016 published online) Significant improvement of bone mineral density and bone turnover markers

by denosumab therapy in bisphosphonate-unresponsive patients. *Osteoporos Int* **28** : 559-66

Taguchi A, Kamimura M, Sugino N, Uchida K, Kitamura Y, Ikegami S, Nakamura Y, Uchiyama S and Kato H (2016) Association of self-reported height loss and kyphosis with loss of teeth in Japanese elderly. *Oral Health Dent Manag* **15** : 69-74

Iwamoto Y, Uchida K, Sugino N, Kuroiwa H, Kitamura Y, Udagawa N, Shinohara A, Higashi Y and Taguchi A (2016) Osteoporosis, osteoporotic fractures, and carotid artery calcification detected on panoramic radiographs in Japanese men and women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* **121** : 673-80

Taguchi A, Shiraki M, Sugimoto T, Ohta H, Soen S for the Japan Osteoporosis Society (2016) Lack of cooperation between physicians and dentists during osteoporosis treatment may increase both fractures and osteonecrosis of the jaw in Japan. *Curr Med Res Opin* **32** : 1261-8

Kamimura M, Nakamura Y, Sugino N, Uchiyama S, Komatsu M, Ikegami S, Kato H and Taguchi A (2016) Associations of self-reported height loss and kyphosis with vertebral fractures in Japanese women 60 years and older: a cross-sectional survey. *Sci Rep*: 6; 6: 29199. doi: 10.1038/srep29199

Ariji Y, Katsumata A, Taguchi A, Fujita H and Ariji E (2016) Factors affecting on observer agreement in morphological evaluation of mandibular cortical bone on panoramic radiographs. *Oral Radiol*. doi: 10.1007/s11282-016-0253-9

勝又明敏, 藤田廣志, 田口 明, 有地淑子, 有地榮一郎 (2016) 骨粗鬆症スクリーニングのためのコンピュータによる下顎骨下縁皮質骨X線画像解析法. *口科誌* **65** : 256-63

Taguchi A, Kamimura M, Nakamura Y, Sugino N, Ichise A, Maezumi H, Fukuzawa K, Ashizawa R, Takahara K, Gushiken S, Mukaiyama K, Ikegami S, Uchiyama S and Kato H (2016) Delayed wound healing after tooth extraction and self-reported kyphosis in Japanese men and women. *Sci Rep*: 16; 6: 36309. doi: 10.1038/srep36309

米田俊之, 萩野 浩, 杉本利嗣, 太田博明, 高橋俊二, 宗園 聡, 田口 明, 永田俊彦, 浦出雅裕, 柴原孝彦, 豊澤 悟 (2016) 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態と管理. *顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016* : 1-16

宇田川信之, 小出雅則, 溝口利英, 中村美どり, 下平滋隆, 田口 明 (2016) 骨はダイナミックに躍動している. *顎咬合誌* **36** : 161-70

田口 明 (2016) 顎骨と骨粗鬆症: 臨床的視点から. *JJOS* **2** : 343-8

大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 藤井健夫, 田口 明 (2016) 抜歯により発生した広範囲な皮下縦隔気腫の1例. *日総歯誌* **8** : 70-3

小林明人, 田口 明, 篠原 淳, 各務秀明 (2016) 根管充填剤の逸出に起因した上顎洞炎の1症例. *松本歯学* **42** : 25-31

内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 富田美穂子, 藤井建夫, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明
(2016) 病理組織学的に側方性歯周嚢胞と診断された1例. 日総歯誌 **8** : 74-7

古田浩史, 八上公利, 北村 豊, 森 こず恵, 落合隆永, 内田啓一, 田口 明, 篠原 淳
(2016) 治癒が得られた上顎のデノスマブ関連顎骨壊死の1例. 日口診誌 **29** : 98-103

内田啓一, 落合隆永, 齋藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀
明, 篠原 淳, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の1例. 松本歯学 **42** :
104-10

山田真一郎, 内田啓一, 高田匡基, 嶋田勝光, 落合隆永, 杉野紀幸, 長谷川博雅, 各務
秀明, 田口 明 (2016) 上顎洞内に広範囲に伸展したKeratocystic Odontogenic Tumorの1
例. 松本歯学 **42** : 111-7

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of
simvastatin lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone
loss. Clin Exp Dent Res **2** : 65-72

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T
and Kawakami T (2016) Functional role of HSP47 in the periodontal ligament subjected
to occlusal overload in mice. Int J Med Sci **13** (4) : 248-54

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa
H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow
-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. Int J Med Sci
13 (7) : 500-6

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N,
Nagatsuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal
ligament inflammatory lesions. Int J Dent Oral Sci **S9** : 001, 1-7

駒崎佑介, 薄井陽平, 高谷達夫, 岡藤範正 (2016) 上顎左側側切歯の形成不全と犬歯の
萌出遅延を伴うAngle II級症例. 甲北信越矯歯誌 **24** (1) : 78-82

学会発表

American (45th) and Canadian (40th) Association for Dental Research 2016 (AADR/CADR)
Annual Meeting & Exhibition, Los Angeles, CA, USA 2016年3月

HSP70 expression as recovery reaction in the mouse periodontal tissues: Muraoka
R, Nakano K, Matsuda H, Kurata K, Yamada K and Kawakami T (Abstract #1429; Web Abstract:
<https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56320>) (Web Abstract:
<https://aadr2016.zerista.com/event/member/238712>)

口すぼめ運動の方向別難易度—口唇トレーニングシステムの開発に向けて— : 竹花快恵,
山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会第56回学術大会プログラム事前抄録集 : p32-3,

2016 ; 日本顎口腔機能学会雑誌 23 (1) : 46-7)

甲北信越矯正歯科学会大会 (第31回) 2016年7月

松本歯科大学病院矯正歯科における過去18年間の口唇裂・口蓋裂患者に関する臨床統計学的研究 : 村上剛一, 倉田和之, 杠 俊介, 藤田研也, 影山 徹, 山田一尋 (甲北信越矯正歯科学会雑誌 24 (1) : P103)

松本歯科大学病院矯正科における顎変形症患者の臨床統計的検討 : 徳田吉彦, 影山 徹, 山田一尋 (甲北信越矯正歯科学会雑誌 24 (1) : p103)

skeletal Class II 不正咬合者における矯正治療後の顎関節形態の変化 : 小出大吾, 影山 徹, 山口文音, 山田一尋 (第31回甲北信越矯正歯科学会プログラム抄録集 : p50)

日本顎関節学会 (29回) 2016年7月

下顎偏位および顎関節症を伴う上顎前突の1治験例 : 影山 徹, 村上剛一, 田口 明, 山田一尋 (日本顎関節学会雑誌 28 (Suppl) : p136)

日本口腔科学会中部地方部会 (第59回) 2016年9月

メカニカルストレスが惹起するマウス歯根膜の傷害と回復におけるHSP70の発現推移 : 村岡理奈, 中野敬介, 川上敏行, 山田一尋 (第59回口腔科学会中部地方部会プログラム抄録集 : p30)

The 13th Biennial Congress of European Association of Oral Medicine (EAOM) Incorporating the World Workshop on Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月 (第13回欧州オーラルメディシン学会大会, 世界オーラルメディシン ワークショップ)

HSP70 in recovery of the mouse PDL by mechanical stress: Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (Abstract : A12 ; Oral Dis 22 (S2) : 12, 2016)

日本口腔筋機能療法学会学術大会 (第4回) 2016年10月

リップエクササイズの効果に関する口唇閉鎖力による評価 : 原 あい, 百瀬由華, 金沢昌律, 山田一尋 (ポスター発表 (抄録集 : p19))

日本矯正歯科学会大会 (第75回) 2016年11月

矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いて上顎大白歯遠心移動を行ったハイアングル上顎前突症例 : 影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p295)

矯正力負荷によるAutophagyの活性は破骨細胞分化を誘導する : 荒井 敦, 宇田川信之, Kim, Reuben, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p192)

歯科矯正学的メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜におけるHSP70の免疫組織化学的発現推移 : 村岡理奈, 中野敬介, 川上敏行, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p187)

口唇トレーニング方法別にみた口唇閉鎖力の影響 : 松田浩和, 原 あい, 百瀬由華, 金沢昌律, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会抄録集 : p134)

多方位口唇閉鎖力測定装置で評価したリップ英草サイズの効果 : 金沢昌律, 原 あい,

百瀬由華, 松田浩和, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会抄録集 : p172)

変形性顎関節症を伴う下顎後退症例 : 村上円郁, 影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p294)

顎偏位症例の咀嚼側と口唇閉鎖力バランスの関連 : 岡崎瑠莉香, 村上円郁, 楓 公士朗, 竹花快恵, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p167)

口唇閉鎖調節運動における方向別難易度の特徴 : 竹花快恵, 増田裕次, 影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p170)

ビジュアルフィードバックを用いた高齢者における随意的口唇閉鎖調節能力 : 土屋恵子, 楓 公士朗, 宮本剛至, 増田裕次, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p174)

第2回日本骨免疫学会ウインターセミナー 2017年1月

Autophagyの活性は破骨細胞分化を誘導する : 荒井 敦, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之, Wang, Cun-Yu, Kim, Reuben (第2回日本骨免疫学会ウインターセミナープログラム集 : p27)

2016 IADR/APR General Session & Exhibition, Seoul, Korea 2016年6月

Lack of cooperation between physicians and dentists during osteoporosis treatment may increase fractures and osteonecrosis of the jaw: Taguchi A, Shiraki M, Sugimoto T, Ohta H and Soen S

日本骨粗鬆症学会ATOP研究会年会 (東京) 2016年3月

JOINT研究知見 : A-TOP研究会顎骨壊死アンケート調査の検証結果 : 田口 明

23rd International “Stress and Behavior” Neuroscience and Biopsychiatry Conference, St. Petersburg, Russia 2016年5月

The reduction of pain stress by using music: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R, Kawahara I, Sadaoka S, Uchida K and Yagasaki T

第59回春季日本歯周病学会学術大会 (鹿児島) 2016年5月

頸動脈石灰化 (頸動脈狭窄症) と現在歯数, 年齢との関係 : 石岡康明, 内田啓一, 山田真一郎, 高橋弘太郎, 高橋惇哉, 岩井由紀子, 海瀬聖仁, 三木 学, 窪川恵太, 山口正人, 石田 直之, 石原裕一, 田口 明, 吉成伸夫

第34回日本骨代謝学会学術集会 / 第3回アジア太平洋骨代謝学会議 (大阪) 2016年7月

60歳以上の日本人女性における自己申告の身長低下および亀背と椎体骨折との関係の横断的評価 : 田口 明, 上村幹男, 中村幸男, 池上章太, 内山茂晴

13th Biennial Congress European Association of Oral Medicine, Sep 15-17, 2016 Torino, Italy

Effect of music on the pain thresholds and nervous activity: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R, Tsuchiya S, Kawahara I, Sadaoka S, Uchida K, Ooki E, Ootogoto J and Yagasaki T

第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（大阪）2016年7月

松本歯科大学病院初診患者における臨床実習の協力動向調査：大木絵美，藤井健男，音琴淳一，小池千恵，内田啓一，富田美穂子，岡藤範正，長谷川博雅

第59回NP0法人口腔科学会中部地方会（塩尻）2016年9月

好酸球性副鼻腔炎の1例：内田啓一，杉野紀幸，石原裕一，富田美穂子，吉成伸夫，遠藤周一郎，田口 明

第59回NP0法人口腔科学会中部地方会（塩尻）2016年9月

診断に苦慮した骨性異形成症の1例：山田真一郎，内田啓一，高田匡基，落合隆永，杉野紀幸，嶋田勝光，長谷川博雅，各務秀明，田口 明

電子情報通信ソサイエティ大会（札幌）2016年9月

歯科パノラマX線写真におけるSnakesとSVMを用いた石灰化領域検出法：那須 剛，川地一輝，棟安実治，浅野 晃，内田啓一，田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会（岡山）2016年9月

頸動脈石灰化（頸動脈狭窄症）の年齢層の検討：内田啓一，石岡康明，國松和司，杉野紀幸，石原裕一，吉成伸夫，田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会（岡山）2016年9月

第4大臼歯の2例：大木絵美，内田啓一，杉野紀幸，石岡康明，高谷達也，金子圭子，森こず恵，藤井健夫，石原裕一，富田美穂子，國松和司，吉成伸夫，田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会（岡山）2016年9月

自然排出した耳下腺唾石と思われる1例：森 こず恵，内田啓一，杉野紀幸，石岡康明，大木絵美，高谷達也，金子圭子，藤井健夫，石原裕一，富田美穂子，國松和司，吉成伸夫，田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会（岡山）2016年9月

外歯瘻の観察にCT検査が有用であった1例：金子圭子，内田啓一，森 こず恵，杉野紀幸，石岡康明，大木絵美，高谷達也，藤井健夫，石原裕一，富田美穂子，國松和司，吉成伸夫，田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会（岡山）2016年9月

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症の1例：森 啓，内田啓一，落合隆永，杉野紀幸，石原裕一，富田美穂子，吉成伸夫，田口 明

第18回日本骨粗鬆症学会（仙台）2016年10月

骨粗鬆症診療において医科歯科連携の欠如は骨折および顎骨壊死を増加させるかもしれない—A-TOP研究会調査検証結果：田口 明，白木正孝，杉本利嗣，太田博明，宗圓 聡，中村利孝

第23回日本歯科医学会総会（福岡）2016年10月

松本歯科大学における歯周病学模型実習に対する学生評価の解析：海瀬聖仁，河谷和彦，坂本 浩，梅村昌孝，吉成雅子，上條博之，三木 学，内田啓一，田口 明，吉成伸夫

NPO法人日本歯科放射線学会第21回臨床画像大会（東京）2016年10月

デジタルパノラマエックス線写真による骨粗鬆症スクリーニング：NEOOSTEOの有用性：

田口 明，杉野紀幸，内田啓一，服部政幸，中元 崇

International Congress of Osteoporosis, Seoul, Korea 2016年12月

Associations of number of teeth present with dental panoramic radiography measure in Japanese men and women 40 years and older: a cross-sectional study: Taguchi A, Takahashi M, Uchida K, Yamada S, Sugino N, Higashi Y and Yamada K

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会（岡山）2016年11月

近年増加傾向にある好酸球性副鼻腔炎の概要：内田啓一，大木絵美，小上尚也，脇本仁奈，藤井健男，富田美穂子，石原裕一，吉成伸夫，田口 明

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会（岡山）2016年11月

若年者に発生した頬部蜂窩織炎の1例：大木絵美，内田啓一，小上尚也，伊能利之，脇本仁奈，藤井健男，富田美穂子，石原裕一，吉成伸夫，田口 明

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会（岡山）2016年11月

上顎洞へ進展した含歯性嚢胞の1例：小上尚也，内田啓一，大木絵美，伊能利之，脇本仁奈，藤井健男，富田美穂子，石原裕一，吉成伸夫，田口 明

第83回松本歯科大学学会（塩尻）2016年12月

絵画分析法を応用してみる：熊井俊文，増田裕次，黒岩博子，内田啓一

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会（東京）2016年2月

再生骨移植局所の炎症サイトカインの経時的な変化に関する検討：李 憲起，千原隆弘，古田浩史，楊 静，各務秀明

第61回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

T2緩和差を利用した³¹P-NMRによる非侵襲的な新生骨量・骨量測定法の開発：斉藤安奈，八上公利，高田匡基，井上 実，森 こず恵，李 憲起，田口 明，各務秀明，芳澤享子，篠原 淳

第26回日本顎変形症学会総会・学術大会（東京）2016年5月

骨延長法を併用し外科的矯正治療を行った上下顎歯列の狭窄を伴う骨格性下顎後退症例：村上 薫，富永憲俊，古谷昌裕，東郷由弥子，岡藤範正，吉川仁育（プログラム抄録集：p150）

第16回日本外傷歯学会総会・学術大会（神戸）2016年7月

実験的咬合性外傷の歯根膜部に対する骨髄由来細胞の供給：高谷達夫，中野敬介，魚住智子，藤井健男，岡藤範正（プログラム抄録集：p34）

第27回日本歯科審美学会学術大会（札幌）2016年8月

水平的ブラキサーへの咬合再構成及び審美補綴治療の1症例：矢ヶ崎昭裕，椿本貴教，飯塚 望，山本季美，岡藤範正（プログラム抄録集：p111）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織におけるHSP47 の発現推移：三村泰亮，高谷達夫，中野敬介，松田紗依佳，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p26）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治癒：高谷達夫，三村泰亮，松田紗依佳，中野敬介，辻極秀次，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p27）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

歯髄における傷害反応とその回復におけるHSPの発現：斉藤進之介，鍋山篤史，中野敬介，岡藤範正，川上敏行（プログラム抄録集：p28）

13th European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月

Cell migration and differentiation of BMDCs into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (A07 ; Oral Dis **22** (S2) : 11)

第23回日本歯科医学会総会（福岡）2016年10月

外傷歯治療後の矯正治療に関する臨床的検討：川鍋 仁，山野辺晋也，渡辺 敦，海老沢聡一，細矢尚史，福井和徳，岡藤範正，伊東泰蔵（プログラム抄録集：p140）

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会（塩尻）2016年10月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果：山川祐喜子，高谷達夫，横井由紀子，山川洋子，大須賀直人，岡藤範正（小児歯科学雑誌：p106）

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会（塩尻）2016年10月

筋機能矯正用咬合誘導装置を用いた年間成長発育量の検討：山木貴子，横井由紀子，薄井陽平，山川洋子，大須賀直人，岡藤範正（小児歯科学雑誌：p111）

特別講演

九州矯正歯科学会（博多）2016年2月

顎関節症と矯正治療の関わり：山田一尋

第31回甲北信越矯正歯科学会大会（新潟）2016年7月

シンポジウム「基本研修機関における若手矯正歯回りの臨床と研究」日本矯正歯科学会の認定医申請：山田一尋

The 6th Korea-Japan Joint symposium in 49th Annual Scientific Congress Korean Association of Orthodontists, Seoul, Korea 2016年10月

Stability of Class II & III surgery: Yamada K

The 11th Asian Pacific Craniofacial Association（第11回アジア太平洋頭蓋顔面外科学会），Nara, Japan 2016年12月

Long-term follow up from birth to adult for Unilateral Cleft lip & palate Surgery: Assessment by the Surgeon, the Orthodontist, the Speech therapist - Clinico-statistical and morphological investigations on cleft lip and/or palate patients during the past 20 years in Department of Orthodontics, Matsumoto Dental University Hospital-: Muraoka R, Kurata K, Okazaki R, Matoba H, Murakami G and Yamada K (The 11th APCA Abstract : p99)

松本歯科大学市民公開講座（塩尻）2016年1月

歯は体の病気を教えてくれる？：田口 明

骨粗鬆症治療と口腔ケアを考える会（飯塚市歯科医師会）（福岡）2016年2月

顎骨壊死問題の現状と対策—国際コンセンサスペーパーを踏まえて：田口 明

「名古屋骨を守る会」第26回講演会（名古屋）2016年2月

歯と体の病気の不思議な関係：田口 明

武田製薬株式会社web全国講演会（東京）2016年3月

骨粗鬆症患者の歯科治療と顎骨壊死対策：田口 明

第25回信州脊椎脊髄疾患研究会（松本）2016年3月

顎骨壊死問題が骨粗鬆症治療に及ぼす影響と国際コンセンサスペーパーの果たす役割：

田口 明

日本歯科放射線学会優良医ステップアップ講習会（東京）2016年3月

画像診断（歯，歯周組織の疾患，顎骨の炎症，系統疾患）：田口 明

上伊那医師会学術講演会箕輪ブロック会（伊那）2016年4月

顎骨壊死：田口 明

第60回日本リウマチ学会総会・学術集会（横浜）2016年4月

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年改訂版をめぐって」：骨吸収抑制剤関連顎骨壊死対策における医科歯科連携の重要性：田口 明

上田小県歯科医師会学術講演会（上田）2016年5月

BP製剤の光と影～高齢者の抜歯時におけるBP製剤の休薬を考える。「BP製剤使用骨粗鬆症患者での事前休薬は骨折および顎骨壊死を増加させる」：田口 明

広島県歯科医師会第1回学術講演会（広島県医師会合同）（広島）2016年5月

骨粗鬆症患者の口腔ケア～顎骨壊死発生をなくすための医科歯科連携を考える～医科歯科連携による顎骨壊死対策—現在の日本に何が必要か？：田口 明，宗圓 聡

第2回豊中骨粗鬆症治療ネットワーク（豊中）2016年6月

骨粗鬆症患者における歯科治療と顎骨壊死対策：田口 明

第15回横浜関節疾患研究会（横浜）2016年7月

顎骨壊死問題の骨粗鬆症治療への影響と国際コンセンサスペーパーの果たす役割：田口 明

松本歯科大学市民公開講座（松本）2016年7月

お口と全身の不思議な関係：田口 明

釜座骨粗鬆症を科学する会（京都）2016年7月

骨粗鬆症患者における歯科治療と顎骨壊死対策：田口 明

武田薬品全国web講演会（東京）2016年8月

骨粗鬆症患者の歯科治療と顎骨壊死対策：田口 明

日本骨粗鬆症学会若手サマーセミナー2016（千葉）2016年8月

臨床研究のすすめ：田口 明

「歯と骨から健康寿命を考える会」阪南医療講演会（大阪）2016年8月

顎骨壊死問題の骨粗鬆症治療への影響と対策：田口 明

MSD Osteoporosis Update（東京）2016年8月

顎骨壊死に関する最新の知見：田口 明

第59回NP0法人口腔科学会中部地方会（塩尻）2016年9月

「パノラマエックス線写真による予防医学の推進—骨粗鬆症，動脈硬化—」：田口 明

第59回NP0法人口腔科学会中部地方会（塩尻）2016年9月

「骨粗鬆症オートスクリーニング支援システムNEOOSTEO の概要について」：内田啓一

呉地区によるMRONJ（薬剤関連顎骨骨髄炎）と骨粗鬆症に関する医科歯科連携講演会（広島）2016年9月：田口 明

第31回熊本骨粗鬆症研究会（熊本）2016年9月

骨粗鬆症患者における歯科治療—顎骨壊死対策を踏まえて：田口 明

高岡市医師会・歯科医師会連携の会（高岡）2016年9月

日本における顎骨壊死の現状と改訂ポジションペーパーの意義：田口 明

第127回中部整形外科災害外科学会・学術大会（松本）2016年9月

ALPSセミナー4 医科歯科連携による骨吸収抑制剤関連顎骨壊死対策：田口 明

Recalbon Executive Conference 2016（東京）2016年11月

ビスホスホネート製剤投与患者における歯科治療の最新の考え方：田口 明

2016年骨粗鬆症診療フロンティア（東京）2016年12月

顎骨壊死について：田口 明

品川区骨粗鬆症医歯薬連携セミナー（東京）2016年12月

日本における顎骨壊死の現状とポジションペーパー2016について：田口 明

戸畑共立病院（北九州）2016年12月

日本における顎骨壊死の現状とポジションペーパー2016について：田口 明

Hebei Medical University 2016年11月

Influence of inflammatory cytokine on osteogenesis of mesenchymal stem cells: Li

X

アジア国際外傷歯学会—平成28年度日中学術交流会—（天津・中国）2016年10月

実験的外傷ストレスにおける歯周組織変化：岡藤範正

第3回日本アライナー矯正歯科研究会（東京）2016年12月

Basic research background of tooth movement examined by aligner orthodontics -
Studies of histological and finite element simulation- : 岡藤範正, 河村 純（プログラム抄録集：p9-10）

講演会

長野県矯正研究会（松本）2016年1月

安全に矯正治療を終わらせるための作法 : 山田一尋

Edgewise Society in Kyusyu（博多）2016年7月

顎関節症と矯正治療の関わり : 山田一尋

長野県矯正研究会（長野）2016年8月

歯科矯正用アンカースクリューによる前歯と臼歯のコントロール : 山田一尋

長野県立こども病院公開講座（安曇野）2016年9月

歯・歯並びについて : 山田一尋

第75回日本矯正歯科学会大会（徳島）2016年11月

指導者講習会「認定医の取得，更新を目指す方，またその指導者へ」 : 山田一尋

第75回日本矯正歯科学会大会（徳島）2016年11月

第75回日本矯正歯科学会大会 JOSフォーラム : 山田一尋

その他の発表

第10回口腔顎顔面病変CPC（塩尻）2016年2月

エナメル上皮腫 65歳男性 : 内田啓一

第11回口腔顎顔面病変CPC（塩尻）2016年5月

線維性異形成症 47歳女性 : 内田啓一

第12回口腔顎顔面病変CPC（塩尻）2016年9月

含歯性嚢胞，角化嚢胞性歯原性腫瘍 6歳男児 : 内田啓一

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

山田一尋，増田裕次，田口 明：CTと顎運動，筋活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の調和に関する研究（基盤研究C）

荒井 敦，溝口利英，小林泰浩，山田一尋：矯正力負荷は破骨細胞前駆細胞のオートファジーを誘導するか（基盤研究C）

田口 明：血清アミロイドAを介した歯周病から動脈硬化症悪化機序に対する老化への影

響（基盤研究C（分担：吉成伸夫））

田口 明：口腔顎顔面のエックス線画像指標を統合した新規骨粗鬆症スクリーニングシステムの構築（基盤研究C（代表））

田口 明：モロッコ王国における侵襲性歯周炎の発症を制御する因子の細菌・免疫学的解析（基盤研究B（分担：吉田明弘））

内田啓一：パノラマX線画像における局所輝度勾配に着目した頸動脈狭窄症の判別法の試み（基盤研究C（代表））